

研究実施のお知らせ

2019年04月01日 ver.2.1

研究課題名

学生を対象とした半定量食物摂取頻度調査票および簡易版食物摂取頻度調査票の妥当性・再現性評価に関する研究

研究の対象となる方

平成29年10月～平成34年12月の期間に島根県内の大学または専門学校に在籍し、本調査の実施が許可された大学または専門学校に在籍する医療・保健関連免許取得（医学部、看護学部、栄養学科、歯科衛生士科、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練専攻等）を目指す学生。同意時の年齢が18歳以上39歳以下の方です。

研究の目的・意義

食物摂取頻度調査は、大規模な集団を対象とする疫学調査に用いられます。日本国内で開発された食物摂取頻度調査票は、壮年期(40-60代)の集団を対象に開発・妥当性検討されたものです。本研究の目的は、若い世代(18歳-30代)を対象に、2種類の食物摂取頻度調査票の妥当性・再現性を明らかにすることです。

本研究で実施する食事秤量記録調査から若年層の具体的な食事内容を明らかにすることができ、さらに2つの調査票の妥当性・再現性の比較により、若い世代に適した調査票を選定することが可能となります。

若い世代に適した調査票を用いて、大規模な若年集団に食事調査を発展させることができれば、若い世代に対する生活習慣病予防対策のための立案、食育や健康教育の機会の充実に繋げることが期待されます。

本研究は島根大学医学部地域医療支援学講座と島根県立大学看護栄養学部健康栄養学科の共同研究として実施します。

研究の方法

- 1) 島根学生版調査票：島根特有の食品（10項目）、体組成値等（血圧、心拍数、握力、体脂肪率、内蔵脂肪レベル、筋肉量、基礎代謝量、推定骨量）、食生活に関する質問（25問）
- 2) 食物摂取頻度調査
①半定量食物摂取頻度調査票(SQFFQ)：SQFFQ1 過去1年間を振り返る、身長、体重、

生年月日、調査票記入日、生年月日、性別、月経の有無、摂取頻度および摂取量（130 食物）*SQFFQ2 では、過去 1 カ月を振り返っていただきます。

②簡易型自記式食事歴法調査票（BDHQ）：BDHQ1、BDHQ2 とともに過去 1 カ月を振り返る、身長、体重、生年月日、調査票記入日、性別、食物摂取頻度（56 食物）、食事歴（24 項目）

3) 食事秤量記録調査

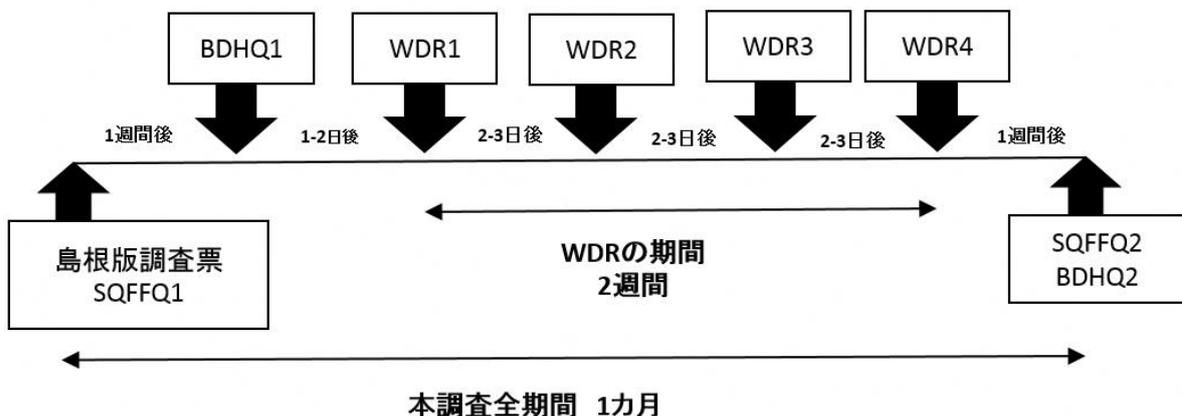
①平日 3 日（月曜日から木曜日、連続しない）、休日 1 日（金曜日から月曜日）、連続しない 4 日分の食事を調査します。

②行事や特別な日ではなく、普通の日の食事を記録して下さい。朝起きてから夜寝るまで、食べたり、飲んだりしたものすべて、可能な限りキッチンスケールを用いて計量し、記録して下さい。

③補足資料として、写真を撮ってください（特に外食）。写真は、料理から離れ、斜め 60 度の方向から中身がわかるように、また、サイズを示すものとしてスプーン、割り箸などと一緒に撮影して下さい。写真を撮った日は、備考欄に写真番号を記入して下さい。

④写真の電子データは、指定のメールアドレスへ、その都度送信して下さい。その際、写真データには個人 ID、撮影日、食事区分、写真番号をつけて下さい。

1) SQFFQ:半定量食物摂取頻度調査 2) BDHQ:簡易型自記式食事歴法調査 3) WDR:食事秤量記録法調査



個人情報として、氏名、生年月日、メールアドレスの情報を収集します。本調査で使用する食物摂取頻度調査票では、生年月日と調査票記入年月日から、正確な年齢を計算するために必要な情報です。この研究に参加された場合、食事調査票情報や体組成測定値など、この研究に関するデータ等は、個人を特定できないように記号化した番号により管理します。個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、メールアドレスは、収集した食事調査内容に不備があった場合、ご本人に

内容を確認するための連絡用として使用させていただきます。それ以外の目的には使用することはありません。

収集した BDHQ 調査票は、株式会社ジェンダーメディカルリサーチ社に代行入力、栄養計算業務を委託します。調査票を郵送記録の残る方法で送り、光学式文字読み取り装置による代行入力を実施後、専用データベースを用いて計算した各種栄養素摂取量、食品群別摂取量等のデータを CD-ROM に保管し、パスワードをかけた状態で島根県立大学へ返送してもらいます。また、郵送した調査票も一緒に送り返してもらいます。本研究のデータは株式会社ジェンダーメディカルリサーチ社には保管されません。

WDR の入力は、島根県立大学において栄養データベースを用いて入力した後、データを CD-ROM に入れ、パスワードをかけ、至学館大学健康栄養学部 今枝教室に郵送し、データの精度を向上させるためにバグチェックを実施後、同じ CD-ROM にデータを入れ返送してもらいます。その後、島根県立大学でバグデータの修正を行います。データのパスワード連絡は、電話連絡します。

SQFFQ 調査票の入力は、島根県立大学内において SQFFQ 専用データベースを用いて各種栄養素摂取量、食品群別摂取等の計算を実施します。

島根県立大学でのデータ入力は、看護栄養学部健康栄養学科で、入力を実施する。また、全ての電子データは、外付けのハードディスクに保存し、外付けハードディスクにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。回収した調査票は、島根県立大学看護栄養学部健康栄養学科の保管庫に施錠して保管します。電子データは、研究参加者個人を特定できる情報を含まない形にして島根大学医学部地域医療支援学講座および島根県立大学看護栄養学部健康栄養学科のそれぞれで管理簿を作成し、使用者名、日時について記録を残します。

同意書に氏名、生年月日、メールアドレスを記載していただきます。研究対象者の識別は登録時に付与される登録番号によって行い、研究対象者との対応表は収集データとは別に研究機関内にて保管します。研究で用いる情報はすべて匿名化し全て登録番号を用いて取り扱います。本調査で使用する食物摂取頻度調査票は、正確な年齢を計算するために、生年月日と調査票記入年月日が必要です。また、調査票に不備や不明点があった場合の確認のため、連絡用としてメールアドレスを取得しますが、本調査以外の目的以外には使用しません。

本研究への参加と学業の評価等とは無関係です。

また、未成年者を研究対象者とする場合、通常は親権者又は未成年後見人の同意が必要ですが、今回の対象者は 18 歳以上 39 歳以下であり、研究が実施されることに對

する十分な判断能力を有すると判断されます。さらに研究の概要（本書）を島根大学医学部地域医療支援学講座および島根県立大学看護栄養学部のホームページに掲載し、本研究を実施または継続することについて、研究対象者の親権者又は未成年後見人が拒否できる機会を保証いたします。

以上のことから、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針の要件を満たすことについて島根大学医学部の倫理委員会および島根県立大学看護栄養学部の倫理委員会の承認を受け、医学部長および県立大学学長の許可を受けた上で本研究を実施するものであります。

研究の期間

この研究はデータ収集期間として、平成 29 年～平成 33 年 毎年 10 月～12 月に実施予定です。その後、データ解析、学会発表、論文作成に約 3 年間を要すると見込まれるため、平成29年10月から平成 37 年 3 月までを研究期間としています。

研究組織

この研究は次の機関が参加して行います。

研究代表者（総括責任者）：

島根大学医学部地域医療支援学講座 佐野千晶

研究事務局（実務責任者）：

島根県立大学看護栄養学部健康栄養学科 中畑典子

参加研究機関

〔研究機関〕

〔研究責任者〕

島根大学医学部地域医療支援学講座

佐野千晶

島根県立大学看護栄養学部健康栄養学科

中畑 典子

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、同意書提出されたその年の 12 月 31 日までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究代表者（総括責任者）：佐野千晶
島根大学医学部地域医療支援学講座
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2558 FAX 0853-20-2563
E-mail: sanochi@med.shimane-u.ac.jp

研究事務局（実務責任者）：中畑典子
島根県立大学看護栄養学部健康栄養学科
〒693-8550 島根県出雲市西林木 151
電話 0853-25-9133 FAX 0853-25-9134
E-mail: n- nakahata@u-shimane.ac.jp